

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

当院で経験した膵胆管合流異常及び総胆管拡張症 47 例の検討

1 研究の対象

2005年1月1日から2025年8月までの間に、JA 北海道厚生連札幌厚生病院外科で膵胆管合流異常の手術を受けられた方。

2 研究目的

膵胆管合流異常の胆管非拡張型に対する予防的胆管切除の是非の検討を行うことを目的とした研究です。

当院で膵胆管合流異常の手術を受けられた方のうち、研究者が診療情報をもとにデータを選択して、分析を行い、予防的胆管切除の必要性の検討を行います。

3 研究に用いる試料・情報の種類

試料: 病理結果等

診療情報: 年齢、性別、検査所見(画像、血液検査、生理検査)、術式、合併症の有無、手術時間、出血量、術後在院日数等。

4 研究組織

当院単独での研究です。

5 情報の提供先・提供方法

他施設への情報提供はありません。

6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院（☎:代表 011-261-5331 内線 4035）

研究責任者:外科 目谷 勇貴

問い合わせ担当者:外科 目谷 勇貴